

北広島市西部地区義務教育学校設置基本構想策定検討委員会 会議録

日 時	令和7年6月5日(木) 18時30分 ~ 19時15分
会 場	市役所3階 会議室3D
出席委員	伊東和徳委員、伊藤順之委員、川村香織委員、竹内巧委員、成田いちご委員、西崎毅委員、日角知世委員、前田優委員、牧野一樹委員
欠席委員	なし
市出席者	【教育委員会】吉田教育部長、鹿野教育部理事、川又学校教育課長 (庶務) 竹内教育総務課長、伊達参事、大友主査、田中主査、 宮越主任 【オブザーバー】下野企画課長
傍聴者	なし

1 開会

委員の過半数が出席していることから、会議が成立していることを確認し、開会。

2 会議録署名委員の指名について

会議録の署名委員として、前田委員を指名。

3 審議

事務局より、前回会議にて審議された意見を反映した基本構想(原案)を説明。再度委員の見解を伺い、基本構想に明記するか委員会の中で決定する旨を説明。

【教育部長】

基本構想(原案)の浸水対策について、ハザードマップ上西部地区では仁別川及び島松川近くが浸水区域とされているが、西部小学校は浸水区域外となっており、過去に浸水した経緯を確認すると、西部小学校敷地内の雨水管の対策を行うことによって浸水を防ぐとして雨水対策と文言を変更させていただいた。一方で防災面での安全性の確保ということで地震や火災、暴風雨といった雨水対策も他の災害に対する防災対策に含まれるため、事務局としてはいただいたご意見を受け止めつつ、総じて防災拠点としての安全性の確保を図っていくこととしたい。この雨水対策の文言については今後、防災対策の文言の一部に含まれる可能性があるとして、ご承知おき願いたい。

【A委員】

過去には、雪解けの際にも浸水しそうになった記憶があるが、雨水対策のほかに河川対策も必要となってくるのではないかと。

【教育部長】

水が溢れる主な原因として、輪厚ゴルフ場からの雨水の流れが挙げられ、当初雨水管を入れる際には抑えられる想定としていたが、近年降雨量が増加していることから、抑えきれなくなっている状況となっているため、何らかの対策を検討していく必要がある。

【B委員】

連合町内会でも、その問題が議論となり、西部中学校敷地横の雑木林を整備すれば雨水対策にもつながるのではないかと議論したことがある。

【教育部長】

地域政策要望でも、要望いただいていることは承知している。今後別の形で検討させていただくこととしたい。

委員長より基本構想(原案)について、大枠固まったことにより、この議論内容を踏まえた内容で答申するとの申し出があった。

すべての委員からの異議なしとの発言があったため、委員長が教育委員会へ直接答申することに決定した。

北広島市西部地区義務教育学校設置基本構想策定検討委員会 会議録

4 次回の委員会日程について

次回の委員会開催について、西崎委員長が教育委員会へ直接答申することに決定したため、次回の委員会は開催しないこととした。

事務局より、検討委員会でいただいた意見を元に基本構想（案）作成し、その後市民からも基本構想に対する意見や考えを伺うためパブリックコメントを実施し、基本構想の策定を行っていく旨を説明した。

5 閉会

令和 7 年 6 月 14 日

会議録署名委員

前田 優
